

(様式3)

合流式下水道緊急改善事業 事業評価シート

評価実施年月：平成28年2月

1. 対象事業	立川市公共下水道（立川市単独処理区）			
2. 実施主体名称	立川市			
3. 計画期間	平成22年度～平成25年度			
4. 対象事業の進捗状況	・計画期間に下記のとおり施設を設置した。			
	施設名称	計画	実績	
	浸透ます等（公共）	1,483基	1,321基	
	浸透ます等（民間）	3,319基	4,780基	
	浸透トレンチ（公共）	776.8m	810.4m	
	浸透トレンチ（民間）	934.3m	1,425.3m	
	雨水貯留施設	1,400 m ³	1,400 m ³	
	夾雑物除去施設	4吐き口	4吐き口	
		目標値	事後評価値	
	浸透量合計（m ³ /時）	12,606.7	14,276.0	
5. 目標の達成状況	・事業期間最終年の平成25年度末に、事後評価値は目標値に対して下記のとおりとなった。			
	目標の区分	未対策状態	目標値 （平成25年度末）	事後評価値 （平成25年度末）
	①汚濁負荷量の削減 放流負荷量（t/年）	417.8	288.1	288.1
	②公衆衛生上の安全確保 越流回数（回/年）	395	134	133
	③夾雑物の削減 設置吐き口数（箇所）	0	8	8
	①汚濁負荷量の削減 目標通りの結果となった。			
	②公衆衛生上の安全確保 目標を上回る結果となった。			
	③夾雑物の削減 目標通りの結果となった。 （平成22年の事業着手時、夾雑物除去施設未設置の吐き口は4箇所であった。）			
6. 対象事業の整備効果の発現状況等	スクリーン等を設置したことで、放流されていた夾雑物が除去され、降雨後の放流先水域における美観が改善された。 雨水浸透施設を設置し、下水道に流入する雨水量を低減させることで、未処理放流の回数が減り、放流負荷量が低減出来た。			
7. 事業の効率化に関する取り組み状況	・雨水浸透施設については、指導要綱等により推進している。			
8. 今後の方針	・雨水浸透施設設置への助成制度を継続し、宅地への設置を積極的に推進していく。 ・対策施設の適切な維持管理および、法令に基づく雨天時水質検査を通し、対策施設の効果を継続的に確認するとともに、維持管理の妥当性を確認していく。			

(様式3)

合流式下水道緊急改善事業 事業評価シート

評価実施年月：平成28年2月

1. 対象事業	立川市公共下水道(多摩川流域北多摩一号処理区関連)			
2. 実施主体名称	立川市			
3. 計画期間	平成21年度～平成25年度			
4. 対象事業の進捗状況	・計画期間に雨水浸透施設を下記の通り設置した。			
	浸透施設名称	計画	実績	
	浸透ます等	739基	887基	
	浸透トレンチ	365.2m	365.2m	
		目標値	事後評価値	
	浸透量合計 (m ³ /時)	906.3	997.8	
5. 目標の達成状況	・事業期間最終年(平成25年度末)に、事後評価値は目標値に対して下記の通りとなった。			
	目標の区分	未対策状態	目標値 (平成25年度末)	事後評価値 (平成25年度末)
	①汚濁負荷量の削減 放流負荷量 (t/年)	5.9	5.2	4.9
	②公衆衛生上の安全確保 放流回数 (回/年)	該当施設無し		
	③夾雑物の削減 設置吐き口数 (箇所)	該当施設無し		
	①汚濁負荷量の削減は目標を上回る結果となった。 ②③について、該当施設はない。			
6. 対象事業の整備効果の発現状況等	・雨水浸透施設を設置し、放流負荷量を低減した。			
7. 事業の効率化に関する取り組み状況	・雨水浸透施設については、指導要綱等により推進している。			
8. 今後の方針	・雨水浸透施設設置への助成制度を継続し、宅地への設置を積極的に推進していく。 ・雨水浸透施設の民間設置分について啓発活動を行い、機能維持に努めていく。			

(様式3)

合流式下水道緊急改善事業 事業評価シート

評価実施年月：平成28年2月

1. 対象事業	立川市公共下水道(多摩川流域北多摩二号処理区関連)																		
2. 実施主体名称	立川市																		
3. 計画期間	平成21年度～平成25年度																		
4. 対象事業の進捗状況	・計画期間に雨水浸透施設を下記の通り設置した。 <table border="1"><thead><tr><th>浸透施設名称</th><th>計画</th><th>実績</th></tr></thead><tbody><tr><td>浸透ます等(民間)</td><td>2,920基</td><td>4,103基</td></tr><tr><td>浸透トレンチ</td><td>1,292.8m</td><td>1,652.5m</td></tr></tbody></table> <table border="1"><thead><tr><th></th><th>目標値</th><th>事後評価値</th></tr></thead><tbody><tr><td>浸透量合計(m³/時)</td><td>5,121.0</td><td>6,810.0</td></tr></tbody></table>			浸透施設名称	計画	実績	浸透ます等(民間)	2,920基	4,103基	浸透トレンチ	1,292.8m	1,652.5m		目標値	事後評価値	浸透量合計(m ³ /時)	5,121.0	6,810.0	
浸透施設名称	計画	実績																	
浸透ます等(民間)	2,920基	4,103基																	
浸透トレンチ	1,292.8m	1,652.5m																	
	目標値	事後評価値																	
浸透量合計(m ³ /時)	5,121.0	6,810.0																	
5. 目標の達成状況	・事業期間最終年(平成25年度末)に、事後評価値は目標値に対して下記の通りとなった。 <table border="1"><thead><tr><th>目標の区分</th><th>未対策状態</th><th>目標値 (平成25年度末)</th><th>事後評価値 (平成25年度末)</th></tr></thead><tbody><tr><td>①汚濁負荷量の削減 放流負荷量(t/年)</td><td>54.2</td><td>44.7</td><td>43.1</td></tr><tr><td>②公衆衛生上の安全確保 放流回数(回/年)</td><td colspan="3">該当施設無し</td></tr><tr><td>③夾雑物の削減 設置吐き口数(箇所)</td><td colspan="3">該当施設無し</td></tr></tbody></table> <p>①汚濁負荷量の削減は目標を上回る結果となった。 ②③について、該当施設はない。</p>			目標の区分	未対策状態	目標値 (平成25年度末)	事後評価値 (平成25年度末)	①汚濁負荷量の削減 放流負荷量(t/年)	54.2	44.7	43.1	②公衆衛生上の安全確保 放流回数(回/年)	該当施設無し			③夾雑物の削減 設置吐き口数(箇所)	該当施設無し		
目標の区分	未対策状態	目標値 (平成25年度末)	事後評価値 (平成25年度末)																
①汚濁負荷量の削減 放流負荷量(t/年)	54.2	44.7	43.1																
②公衆衛生上の安全確保 放流回数(回/年)	該当施設無し																		
③夾雑物の削減 設置吐き口数(箇所)	該当施設無し																		
6. 対象事業の整備効果の発現状況等	・雨水浸透施設を設置し、放流負荷量を低減した。																		
7. 事業の効率化に関する取り組み状況	・雨水浸透施設については、指導要綱等により推進している。																		
8. 今後の方針	・雨水浸透施設設置への助成制度を継続し、宅地への設置を積極的に推進していく。 ・雨水浸透施設の民間設置分について啓発活動を行い、機能維持に努めていく。																		